

令和3年度
公益財団法人 京都市生涯学習振興財団 事業計画

1 財団の概要

項 目	説 明
設立年月日	昭和56年3月16日 平成22年4月1日 公益財団法人へ移行認定
設立の趣旨と目的 (定款3条)	京都のもつ歴史と文化を生かした生涯学習に関する事業を行い、市民の自発的な学習意欲を喚起して生涯学習の振興を図るとともに、京都市域における教育と文化の発展に寄与する。
基本財産	80,000千円
理事会及び評議員会	理事13名 監事2名 評議員13名
職員数	215名 (令和2年4月1日現在)
業務概要	<p>【財団が事業実施する施設】</p> <p>生涯学習総合センター (京都アスニー, アスニー山科) 2館 図書館 (中央図書館など4中央館と地域館) 18館</p> <p>【財団が実施する事業】 (詳細後述)</p> <p>生涯学習事業 及び図書館事業 その他の事業 … 駐車場運営, 飲料水の販売等を実施</p>

2 生涯学習総合センター事業

(1) 財団自主事業

事業名等	説 明
アスニーセミナー (京都アスニーで実施)	<p>歴史・文化から自然科学まで様々なテーマで、より専門的な内容を学んでいただける、有料の教養講座として開講。</p> <p>また、平成29年度から受講者の範囲を広げるため、夜間の有料講演会「アスニー・ナイトプログラム」を年1回開講。</p>
アスニーアトリエ (京都アスニー, アスニー山科で実施)	<p>継続的に取り組んでいただく趣味・実技講座として、語学・ヨガ・太極拳・和裁・茶道・シャンソン・箏曲・よし笛・囲碁・書道・油絵・陶芸・フラワーアレンジメント等、多種多様な内容の講座を開講。</p>

事業名等	説明
<p>アスニーコーラス (京都アスニー、アスニー山科で実施)</p>	<p>歌う楽しさを味わい音楽に親しむことにより、毎日を健康で潤いあるものとするため、初心者から経験者まで、幅広く参加できるコーラスグループを運営。</p> <p>※令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、実施を検討。</p> <p>【グループ名 (形態：活動拠点)】</p> <p>ドリームコーラス (女声・混声合唱団：京都アスニー)</p> <p>コール・ウィズユー (女声合唱団：京都アスニー)</p> <p>ラ・コール・デュ・ボア・ジョリ (女声合唱団：京都アスニー)</p> <p>ひかりとともに (女声合唱団：京都アスニー)</p> <p>コーラル・オー・トワ・ラヴィ (混声合唱団：アスニー山科)</p> <p>シャンテ・オー・トワ・ラヴィ (歌唱団：アスニー山科)</p> <p>コール・アスニー (混声合唱団：アスニー山科)</p>
<p>アスニーコンサート (京都アスニーで実施)</p>	<p>気軽に音楽を楽しむことのできる機会として、京都市交響楽団員をはじめとする一流の音楽家による「アスニーコンサート」を平成19年7月から開講。</p> <p>事業の実施にあたっては、趣旨に賛同いただける京都の企業・団体から協賛金を募り運営費に充当。</p> <p>学校教育においても活用いただけるよう、部活動等で音楽活動に励んでいる児童・生徒を対象とした学校団体鑑賞の割引制度も設置。</p>
<p>京都通の文化誌 「創造する市民」</p>	<p>市民の生涯学習のきっかけとなるよう、千玄室所長による対談をはじめアスニーで特に人気の高かった講座の講演録や京都でご活躍の先生方の執筆による寄稿などを掲載。</p>
<p>開館40周年記念事業 (京都アスニーで実施)</p>	<p>京都アスニー開館40周年を記念した京都市平安京創生館展示図録の発行。</p>
<p>山アスギャラリー (アスニー山科で実施)</p>	<p>アスニー山科開館20周年(平成30年度)を契機に、一層の利用促進を目指して館内ロビー中央の壁面に大きな掲示板(高さ1.8メートル、幅4.8メートル)を設置。</p> <p>掲示するテーマごとに掲示板全体のデザインを一新し、常に新鮮な視点での情報提供に努めており、主催事業のPRをはじめ、家族での来館を期待して近隣小学校の作品展示を行うほか、サークル団体や貸館利用者によるユニークな取組を紹介して活動の活性化を支援する。</p>

(2) 受託事業（京都市からの委託を受けて実施）

事業名等	説明
<p>京都市平安京創生館 における展示事業 (京都アスニーで実施)</p>	<p>平安京を間近に体感し、学習いただける京都市唯一の施設として、京都アスニー1階に開設。</p> <p>平安京の町並みや当時の建造物の復元模型の常設展示を中心に、当時の遊びや平安貴族装束の着付けが体験できるコーナーを常設するほか、展示事業をより魅力あるものにするため、毎年度2期に分けた企画展を実施している。</p> <p>令和3年度は、京都アスニー開館40周年記念企画展として、令和4年度にかけ3期に分けて「伊勢斎宮と平安京」をテーマに開催する。</p> <p>また、常設の復元模型等に多言語音声解説設置を予定。</p>
<p>ゴールデン・ エイジ・アカデミー (京都アスニーで実施)</p>	<p>市民一人ひとりが自ら学び教養を高める中で、人生をより深く豊かなものとしていくことを目的として、京都が誇る歴史・文化・文学・伝統芸能等をはじめ、防災・健康・環境など様々なテーマについて、関係機関とも連携しながら各分野の専門家を講師とする無料の講座を実施。</p> <p>また、講演会終了後には、歌唱指導を実施。</p> <p>※令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、代替事業として「アスニー特別講演会」を当面の間、実施する。</p>
<p>アスニー特別講演会 (京都アスニーで実施)</p>	<p>「ゴールデン・エイジ・アカデミー」の特別事業（代替事業）として、規模の縮小や実施回数の縮減、更に受付方法など感染予防対策を工夫することにより、令和2年11月から引き続き月1回～2回程度実施する。</p>
<p>学びのフォーラム 山科 (アスニー山科で実施)</p>	<p>市民一人ひとりが自ら学び教養を高める中で、人生をより深く豊かなものとしていくことを目的として、京都が誇る歴史・文化・文学・伝統芸能等をはじめ、健康・環境・人権・防犯など様々なテーマについて、関係機関とも連携しながら各分野の専門家を講師とする無料の講座を実施。また、講演会開始前に歌唱指導を実施。</p> <p>上記のほか、コンサート形式の歌唱指導特別回を毎年1回実施。</p> <p>※令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、代替事業として「アスニー山科特別講演会」を当面の間、実施する。</p>

事業名等	説明
アスニー山科 特別講演会 (アスニー山科で実施)	<p>「学びのフォーラム山科」の特別枠事業（代替事業）として、規模の縮小や実施回数の縮減、更に受付方法など感染予防対策を工夫することにより、令和3年3月から引き続き、月2回程度実施する。</p>
アスニー京都学講座 (京都アスニーで実施)	<p>京都市内の歴史や文化関係機関等の研究者が日頃の研究成果を発表し、市民の学びにつなげる場として、土曜に受講料無料の講座を開講。</p>
アスニー文化祭/ アスニー山科文化祭 (京都アスニー、 アスニー山科で実施)	<p>学びの輪やすそ野を広げる事業として、講座受講者や貸館利用者の活動を中心に、その成果を作品展示や舞台発表で披露する場として、また、より多くの市民が新たに活動に参加するきっかけづくりの場として、それぞれ年1回開催。</p>
視聴覚センター事業 (京都アスニーで実施)	<p>市内の学校や社会教育団体を対象に、無料で、DVD教材、16ミリフィルム、ビデオテープ及び映写機材の貸出及び人権啓発映画の試写会等の実施。</p>
アスニーこどもコンサート ・キッズシネマ (京都アスニーで実施)	<p>視聴覚フィルムライブラリーに所蔵する子ども向け映画やアニメ作品の上映会を月1回実施。あわせて、学校で音楽活動を頑張る子どもたちの励みとなるよう、年間を通してこどもコンサートを実施。 入場無料。</p>
映画会 (京都アスニー、 アスニー山科で実施)	<p>視聴覚センターが保有するDVD等、400以上のタイトルの映画の中から参加者からのリクエスト（アンケート調査）を取り入れて「アスニーシネマ」として月1回上映。入場無料。 ※「アスニー シネマスペシャル」として年1回、京都アスニーで長編映画を上映 ※令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、「アスニーシネマ山科」の代替事業として「学びの映像」を当面の間実施する。</p>
バリアフリー映画会 (京都アスニーで実施)	<p>平成28年4月の「障害者差別解消法」の施行を機に、京都市の生涯学習の拠点として、関係機関の協力を得て、障害のあるなしの垣根を越えて広く一般市民の方に楽しんでいただくために実施。 入場無料。年1回。</p>
学びの映像 (アスニー山科で実施)	<p>「アスニーシネマ山科」の代替事業として、内容の見直しや規模を縮小し、更に受付方法など感染予防対策を工夫することにより、令和2年10月から引き続き、月1回程度実施する。</p>
その他 (京都アスニーで実施)	<p>16ミリ映写技術講習会 40周年記念企画への参画</p>

【生涯学習事業の参加者数】

区分	平成30年度	令和元年度	増△減
京都アスニー (うち平安京創生館入館者数)	170,997人 (91,761人)	151,029人 (85,147人)	△19,968人 (△6,614人)
アスニー山科	27,382人	24,726人	△2,656人
計 (うち平安京創生館入館者数)	198,379人 (91,761人)	175,755人 (85,147人)	△22,624人 (△6,614人)

(3) 貸館事業（京都市からの委託を受けて実施）

生涯学習に係る自主的な学習活動のための場を提供。教室形式の研修室や和室、大小の会議室、サークル活動室、ホールなど様々な用途に利用いただける施設を備えている。

とりわけサークル活動室については、防音機能を有し、二足制の部屋であることから常に人気があり、音楽活動や体操・ヨガ等、多様な活用がなされている。

また、平成28年4月施行の障害者差別解消法を契機に導入したヒアリンググループ（補聴器等を利用される方の“聞こえ”を支援する設備）は、貸館利用の際、希望者に携帯用ヒアリンググループの貸出を行っており、卓上ヒアリンググループはカウンターに常設している。

新型コロナウイルス感染症の影響としては、活動を自粛・縮小される貸館利用者が多く、活動停止を決断される団体もあったが、一方で、文化・地域活動の継続・再開を強く希望される利用者も少なくなかった。こうした方々への支援として、京都市の「新しい地域活動スタイル」普及促進事業の紹介、貸館で共用する備品類の消毒・こまめな換気・飛沫防止の工夫など、安心・安全にご利用いただくための対策を徹底して講じながら、併せて、高齢者や配慮が必要な方への柔軟な対応、給水スポット設置・案内表示や駐輪場の環境整備・敷地内の緑化・情報誌「まなびすと」掲載記事の工夫など、使いやすく親しみやすい施設を目指した取組を進めている。

<自習室の開設>

京都アスニーにおいて、平成27年度後期から試行的に開設をしていた自習室については、利用者からの要望が多いこともあり、平成28年度以降、貸館事業において空室が発生した際に開設している。

また、新型コロナウイルス感染症に対しては、利用者に検温・マスク着用・健康状態の確認等の協力をお願いしながら、こまめな換気・消毒・座席間の距離を適切に保った上で飛沫防止の仕切りを設置する等の予防対策を行い、開設を継続している。

(4) 情報発信

項目	説明
生涯学習情報コーナー (京都アスニー, アスニー山科で実施)	生涯学習の拠点施設として、市民のニーズに応じて幅広く学習いただけるよう、館内に「生涯学習情報コーナー」を設け、京都市及び京都市近郊で行われる講座・講演会、展覧会、演奏会などのイベント情報や施設案内等の情報（ちらし・パンフレット等）を配架。 ホームページ（HP）では、京都市の関係機関や大学・短期大学、博物館・美術館等の文化施設、民間カルチャーセンター等のHPともリンクし、生涯学習に関する様々な情報を紹介。
生涯学習講座のご案内 「まなびすと」	京都アスニー及びアスニー山科で実施する講座・講演会、実技教室、コーラス・イベントの情報や寄稿等による事業内容の紹介など、広く市民に情報発信するために発行。
貸館利用団体 掲示版 (京都アスニー, アスニー山科で実施)	京都アスニー及びアスニー山科で活動されている方（団体・個人）を対象に、館内で実施するイベントの情報や、サークルの紹介・新規会員募集の告知など、ちらしの掲示と配架のできるコーナーを設置している。 (アスニー山科では、サークル案内コーナーとして設置。)

(5) その他の事業の概要（収益事業）

項目	説明
駐車場の運営 (京都アスニーで実施)	京都アスニーの敷地の一部を京都市から賃借し、京都アスニーと中央図書館の来館者等に利用いただける駐車場の運営を行う。 (料金：施設利用者は30分につき100円、上限1,000円(5時間以上))
その他 (京都アスニーで実施)	① 自動販売機による飲料水の販売（アスニー山科でも実施） ② レンタルボックスの提供 ③ 市バス回数券等の販売等

3 図書館事業

(1) 京都市図書館の概要

項目	説明
館数	<p>18館</p> <p>当財団にて事業を受託している4つの中央図書館と14の地域図書館のほか、京都市直営のこどもみらい館子育て図書館・コミュニティプラザ深草図書館・移動図書館「こじか号」で、京^{みやこ}ライブラリーネットを構築している。</p> <p>※ 移動図書館「こじか号」は京都市直営により、既存の図書館を中心とした半径2km以内に入らない地域を巡回。 (令和2年12月31日現在 巡回基地41箇所)</p>
開館日・開館時間等	<p>① 全館で、火曜日、年末年始（12月29日～1月4日）及び図書特別整理の期間を除くすべての日を開館</p> <p>② 全館で午前9時30分から開館 (閉館時間は館、曜日により異なる)</p> <p>③ 4中央図書館で夏季（7月・8月）土曜日の開館時間を午後7時まで延長（通常は午後5時）</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況に伴い、平日夜間開館を実施する場合の開館時間を当面午後7時までとする。今後の状況を鑑みて、全館の開館時間を変更する可能性あり。</p>
蔵書冊数	約194万冊
個人登録者数	約41.8万人
入館者数	約403万人（1日あたり13,302人）
貸出人数	約244万人（1日あたり8,061人）
貸出冊数	約759万冊（1日あたり25,151冊）

※ 京都市直営の移動図書館，こどもみらい館子育て図書館，コミュニティプラザ深草図書館の実績を含む
(令和元年度の利用状況による)

(2) 図書館事業の概要

京都市図書館では、「はばたけ未来へ！京プラン（京都市基本計画）」を踏まえ、図書館が市民の学びを支える最も身近な生涯学習施設として積極的に活用されるよう、利便性の向上に努める。

また、「第4次京都市子ども読書活動推進計画」に基づく子どもの読書活動を推進する取組に重点をおくとともに、あらゆる市民を対象とした読書活動推進事業及び図書館を活用した生涯学習推進事業に取り組む。

◎は全館で取組む事業

〈1〉一層身近な図書館となるよう利便性の向上に努める取組

市民に最も身近な学びの拠点として、図書館を一層活用してもらえよう、利便性の向上を図る

① 利便性向上に関する取組

◎(ア) 図書館利用者サービス

(イ) 図書館返却ポストの地下鉄駅等への設置

(ウ) 自動貸出機の設置

◎(エ) 書籍消毒機の設置

◎(オ) 郵送等によるサービスの実施

◎(カ) 「読書バリアフリー法」の趣旨を踏まえた誰にでもやさしい開かれた図書館としての取組

・ 障害者に対するサービス

在宅貸出制度、特別貸出制度、音の文庫事業（京都ライトハウスとの連携事業）、視聴覚障害情報総合ネットワーク（サピエ）への加入、録音資料貸出制度、大活字本・点字図書、対面朗読等。令和2年度からは、京都府視覚障害者協会のメーリングリストへお知らせの掲載を依頼。

・ 高齢者に対するサービス（認知症サポート等）

シニア世代の力を活かした取組やシニア世代をサポートする取組として、シニア世代の作品展示、音読教室、高齢者施設への出張事業などを実施。

・ 乳幼児連れ保護者に対するサービス

・ 外国人利用者に対するサービス

・ その他

◎ (キ) 他の図書館との連携

- ・ 京都府立図書館及び府内図書館 (K-Libnet, 返却資料お預かりサービス等)

平成30年11月から「返却資料お預かりサービス」の本格実施により、京都府立図書館・京都市図書館相互のカウンターで貸出資料の返却が可能。

- ・ 大学図書館 (K-Libnet, 京都市立芸術大学との相互貸借等)
- ・ 国立国会図書館
- ・ 市会図書・情報室
- ・ その他の図書館 (他自治体の公共図書館, 図書室機能を備えた施設等)

◎ (ク) 隣接自治体との相互利用

② 広報サービスとリサイクルサービス

(ア) 広報サービス

- ・ 情報誌「京図ものがたり」の発行
- ・ 図書館利用案内及び「いつだって図書館」の発行
- ◎ 京都市図書館ホームページによる広報
- ・ 京都市図書館SNSによる広報

令和元年10月から京都市図書館のPRを目的に、新たな広報媒体としてSNS (Twitter) を開設。より即時性の高い情報発信を目指す。

- ◎ 報道機関に対するプレスリリースの発行
- ◎ 各図書館による各種広報活動の実施
- ・ 図書館の役割を知ってもらう取組 (書庫ツアー, 施設見学等)

◎ (イ) リサイクルサービス

- ・ ブックリサイクル (不用図書の無償譲渡)
- ・ 雑誌付録の活用

③ 図書館の環境整備

◎ (ア) 京(みやこ)ライブラリーネット

- ・ 他館資料予約・取寄せ・返却サービス (ブックメール事業)
- ・ インターネットサービス

(イ) 令和4年度のシステム更新に向けた内容検討……………新

業務の効率化による人員や時間の有効活用を図れるよう図書館システムの内容を精査する。

〈2〉読書活動の推進に向けた図書館を活用した生涯学習推進事業

「豊かな人生は学びとともにある」という観点から、図書館を活用して、子ども・若者・高齢者まであらゆる世代の市民だれもが学ぶ喜びを実感し、みずからを磨き高めることをサポートする

① 子どもの読書活動推進のための取組（「京都市子ども読書活動推進計画」に基づいて）

（ア）啓発事業

- ・ブックリスト「本のもり」の改訂（令和2～3年度「小学校中学年編」「小学校高学年編」）

学校・保育園等の関係団体と「子どもの読書活動推進のための懇談会」を設け、子どもの読書活動の推進に向けた取組について継続して協議を行っており、その取組の一環として、子どもたちに読んでもらいたい本の年代別リスト「本のもり」を作成し、図書館等で市民に配布。「本のもり」は2年ごとに2種類ずつの改訂を行っている。令和2年度から改定作業を進めている「小学校中学年編」「小学校高学年編」は、令和4年4月から配布開始予定。

- ◎ ・ブックリスト「本のもり」の配布と掲載図書の展示（赤ちゃん編～中学校編）
- ・3歳児健康診査における「本のもり 幼児編」の全員配布
- ・京都市内小学校1年生への「本のもり 低学年編」の全員配布
- ◎ ・子どもを対象とした資料のテーマ展示
- ・夏休みの子どもの向けレファレンス

◎（イ）特別事業

- ・「子ども読書の日」記念事業（4/1～4/30）

子どもたちの創造力の育成や感性を豊かにするなど、その成長に欠かせない読書活動を振興するため、「子ども読書の日」（4月23日）にあわせて様々な事業や取組を展開。「0歳からの絵本コンサート」（京都堀川音楽高校との連携事業）、子どもの本のブックリサイクル、おたのしみ会等。

- ・「読書週間」記念事業（10/27～11/9）

京都市子ども文庫連絡協議会との合同講演会、ビブリオバトル異世代交流戦、読書絵はがき展等

（ウ）乳幼児に対する取組

- ・乳幼児保護者用読書ノートの改訂と配布
- ◎ ・京都版ブックスタート事業への協力（コーナーの設置と指定図書の展示等）
- ◎ ・乳幼児対象の定例行事・特別行事（概ね月1回実施）

◎（エ）小学生に対する取組

(オ) 中学生・高校生に対する取組

- ◎ ・中学生・高校生の利用者増に向けた取組（登録者数の増加等）
- ◎ ・ティーンズコーナーの設置
- ◎ ・中高生おすすめ本の展示
- ◎ ・ティーンズ向け広報誌の発行
 - ・「高校生読書活動推進図書館」の指定（下京図書館，東山図書館 他）

高校生の読書活動支援を調査・研究する図書館を指定し，指定図書館と市立高校が綿密に連携を取りながら，高校生のニーズにあった取組を推進。令和元年度より下京図書館が堀川高校と，令和2年度からは東山図書館が日吉ヶ丘高校との連携を開始し，令和3年度も引き続き様々な取組を実施予定。これまでの取組として，読書アンケート，学校団体貸出，出張カード作成，連携高校に向けての広報，ブックリサイクルなどの連携事業を実施。

- ・ 高校生しおりデザインコンテスト…………… 新

高校生を対象に，しおりをデザインすることを通して想像力や表現力を高め，また生涯に渡って読書に親しむ習慣を身に付けることを目指し，作品を募集する。優秀作品は印刷し，来館者に配布予定。

- ・ ティーンズ対象事業の実施（ビブリオバトル等）

(カ) 学校等との連携

- ◎ ・保育所，幼稚園，小学校，中学校，高等学校，総合支援学校との連携
- ◎ ・学校団体貸出
- ◎ ・「めざせ100冊！読書マラソン」への協力
 - ・「調べ学習のための推薦図書」リストの作成
- ◎ ・夏休み課題図書の展示と貸出
- ◎ ・図書館見学受入
- ◎ ・「生き方探究・チャレンジ体験」受入
 - ・総合支援学校生徒の「職場実習」受入
 - ・学校への出前事業
- ◎ ・出前専用軽ワゴン車「青い鳥号」を活用した学校訪問（ブックトーク，お話会等）
 - ・中高生への読み聞かせ講座
 - ・教育委員会が実施する教職員等研修への講師派遣
（学校図書館支援事業による学校司書研修等）

(キ) 図書館司書研修の充実

- ・子どもの本コンシェルジュ養成講座

京都市図書館司書等を対象に，各図書館等において，子どもの読書の指南役となり，また現場における読書活動推進のリーダーとなり得る職員の資質向上を図る研修として，外部講師による講座を令和元年度より開催。受講生は，2年間に渡る全10講座の受講を原則とし，且つレポート課題を提出した者に修了証が発行され，京都市図書館認定「子どもの本コンシェルジュ」として，各図書館等で活動することができる。引き続き令和3年度から，第2期の講座を実施予定。

(ク) 地域団体・ボランティアとの連携

- ・子どもの読書活動推進のための懇談会
 - ・読み聞かせボランティアの協力
 - ・講演会等の実施
- ◎ ・読み聞かせ講座の実施

(ケ) 館外に出向いての取組

- ・青い鳥号による出前サービス（保育フェスタ、PTAフェスティバル、植物園フェスタ・マルシェ等）
- ・地藏盆等地域への出前読み聞かせ

② あらゆる利用者を対象とした読書活動推進事業及び図書館を活用した生涯学習推進事業

(ア) 京都大百科事典的図書館の展開（右京中央図書館）

- ・京都に関する資料の収集
- ・京都に関するレファレンス対応（Eメールレファレンスの受付）

(イ) 特別事業

- ・「読書週間」記念事業（10/27～11/9）

◎ (ウ) 単年度事業

- ・オリンピック、パラリンピック関連資料展示…………… 再

令和2年夏季に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にあわせて、京都市図書館全館で関連図書展示を中心とした事業を展開予定。

- (・新型コロナウイルス感染症関連資料展示…………… 新)

コロナと共に生きていくことが求められる「ウイズコロナ時代」に関する図書展示を京都市図書館全館で実施予定。

(エ) 図書館展示

- ◎ ・図書館資料等の特設展示
 - * 「憲法月間」「環境月間」「平和関連」「古典の日」「人権月間」等
- ・他機関との連携による展示
 - * 「きょう・いのち・ほっとブック事業」「お酒を⑧もう」「男女共同参画」「認知症啓発」等

(オ) 司書の専門性を生かした取組

- ◎ ・「司書のイチオシ」（本の紹介）
- ◎ ・レファレンスサービスの普及
 - ・フロアワーク

(カ) 図書館司書研修の充実

- ・レファレンス研修の体系化

(キ) 文化庁移転を踏まえた文化芸術事業

- ・講演会，映画会，朗読会等の実施，芸術作品の展示等

(ク) 地域の特色に応じた取組

- ・地域の文学探訪
- ・地域に関する講演会
- ・地域に関するコーナーの充実
- ・その他

(ケ) 他団体と連携した取組

- ・大学等との連携
- ・MLA連携（博物館，美術館，図書館，文書館）
- ・植物園，動物園，水族館等との連携
- ・病院，高齢者施設，社会福祉団体等との連携
- ・NPO，ボランティア団体等との連携
- ・公的機関，民間との連携

(コ) 図書館ボランティアの活用

〈3〉周年事業等

① 中央図書館・北図書館開館40周年，下京図書館移転20周年

② 図書館地区別研修（近畿地区）

図書館における中堅の司書としての力量を高めることを目的とした，図書館に関する最新のテーマや地域における課題等についての研修。令和3年度の主催は，文部科学省及び京都市教育委員会。